

所長あいさつ

2020年、豊田理化学研究所は創立80周年を迎え、その歴史に新たなページをきざみます。この機会に、創設者豊田喜一郎の崇高な思いを今一度、構成員と共有し、新たな学理構築とその発信源としての豊田理研を築いていきたいと思いをします。

「着々基礎を確立するに努め度し」
「研究題目を限定せず自由研究とし度し」
「閑却され勝ちの学理も重視し度し」
「根本原理の探求を主とし度し」



玉尾 皓平 所長

豊田理化学研究所は、「豊田理研フェロー」「豊田理研スカラー」「特定課題研究」をはじめ、「物性談話会」「分子科学フォーラム」「豊田理研懇話会」など、幅広い研究活動、研究支援活動を実施してきております。特に近年は、若手育成制度の強化に取り組んでおります。

その一つとして、2016年に始めたのが「豊田理研スカラー」を中心とした「異分野若手交流会」です。これは毎年研究助成を行っている全国の大学の若手研究者「豊田理研スカラー」30数名を中心に、「特定課題研究」代表者数名と、メンター役としての熟達頭脳集団「豊田理研フェロー」と理事らも参画した、一泊二日合宿形式の交流会です。この交流会では、初めて出会った研究者たちの中で「異分野連携研究の芽」を生み出すことを奨励し、支援しています。これらの「芽」が将来大きく育って革新的な研究分野として発展してくれること、“この新しい分野は10年前のあの「豊田理研異分野交流会」から生まれたのだね”というようなことを願っています。

もう一つが、2019年度から始めた新たなグローバル人材育成のための「海外大学院進学支援制度」です。これは大学生、大学院生に海外の大学院への進学を奨励・支援して、将来国際的に活躍する人材を育成するのが目的です。

これらの活動を通じて、豊田理化学研究所が多様な研究成果の発信源となると共に、異分野交流・若手人材育成・研究者ネットワーク構築のハブとなることを目指します。

2018年2月末に完成した、前所長の故井口洋夫先生を顕彰する「井口洋夫記念ホール Hiroo INOKUCHI Hall」はこれらの活動の拠点として活用してまいります。

本年も、豊田章一郎理事長の崇高な経営方針の下、先代所長の故井口洋夫先生の高潔なご遺志を引き継ぎ、創立80周年の伝統と実績を誇る豊田理化学研究所の運営にしっかりと取り組んでまいります。そして、それを通じて、わが国の科学技術の発展に微力ながら尽くしたいと存じますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 豊田理化学研究所
所長 玉尾 皓平